

WINDOWS 10 システム構成



目次

HD映像+MQA音声での視聴

WINDOWS PCでのMQA音声視聴

MQA対応製品リスト

WINDOWS 10のシステムの設定

- 排他モードの設定
 - その他の設定と音量について
- ブラウザのセットアップでの注意点

HD映像+MQA音声での視聴

MQAデコーダーがなくても、MQAエンコードされたにじみの少ない音質で、これまでにない高音質での映像を楽しむことができます。

MQAデコーダーを接続すると、元のスタジオでのサウンドを再現し、お気に入りのアーティストのパフォーマンスをもっとリアルに体験、鑑賞することができます。

MQA音声の映像はiOS、Android、PC、Macなど、さまざまなデバイスで再生して楽しむことができます。

WINDOWS PCでのHD映像+MQA音声視聴

シンプルなシステム+ブラウザの設定で、最高の音質でのライブパフォーマンスを楽しむことができます。
MQAで視聴する場合は、MQA対応のDACをPCのUSB入力に接続し、後ろのページにある設定を行ってください。
ライブパフォーマンスの収録スペック: 今回のBMEセッションの音声は24Bit/96kHzで収録されています。これをMQAエンコードによって24Bit/48kHzのファイルに折り畳んでいます。

MQA対応製品リスト

Astell&Kern SP2000

Audiolab 8300CDQ

Bel Canto Black EXDAC、EX Integrated、ACI600、E1X DAC、E1X Integrated

Brinkmann Nyquist MkII

CanEver ZeroUno DAC、Plus、DAC-HPA

Cocktail Audio/Novafidelity X45Pro、X50 Pro、X50D、X45、X35

dCS Rossini DAC および Player、Vivaldi One

EMM Labs DA2 V2、DV2

Esoteric Grandioso D1X

exaSound e32MkII、PlayPoint DM

Hegel H390、H590

iFi Audio Pro iDSD

JAVS X7-DAC

M2Tech Young MkIII

Mark Levinson No5802 および No5805

Matrix Audio X-Sabre Pro

Meridian 218、251、818v3、Ultra DAC

MSB Audio Select II および Reference DAC

NAD D3045

NuPrime Evolution DAC

Pioneer PD-50AE

PALAB DAC-M1

Pro-Ject Pre Box S2 Digital、Pre Box RS2 Digital

PureAudio Lotus DAC5

Technics SU-G30、ST-C700D

MOON ACE、390、780D、280D、680D

S.M.S.L M500

Sonnet Morpheus DAC

※リストには日本では未発売の製品が含まれています。

WINDOWS 10のシステムの設定

手順1: サウンド設定を開いてください。

手順1a:

・タスクバー内のスピーカーのマークを右クリックするか、Windowsキー+Iを押してサウンドを検索、または「設定」を開いて「サウンド」に移動します(コントロールパネル→サウンド)。

手順1b:

手順1aを行っても設定できていない場合は、優先出力デバイスが選択されていることを確認し、デフォルトのデバイスに設定してください。

右クリックしてデバイスのプロパティを開くと設定可能になります。

Sound

Output

Choose your output device


Speakers (Meridian USB input) ▾

Certain apps may be set up to use different sound devices than the one selected here. Customise app volumes and devices in advanced sound options.

[Device properties](#)

Master volume



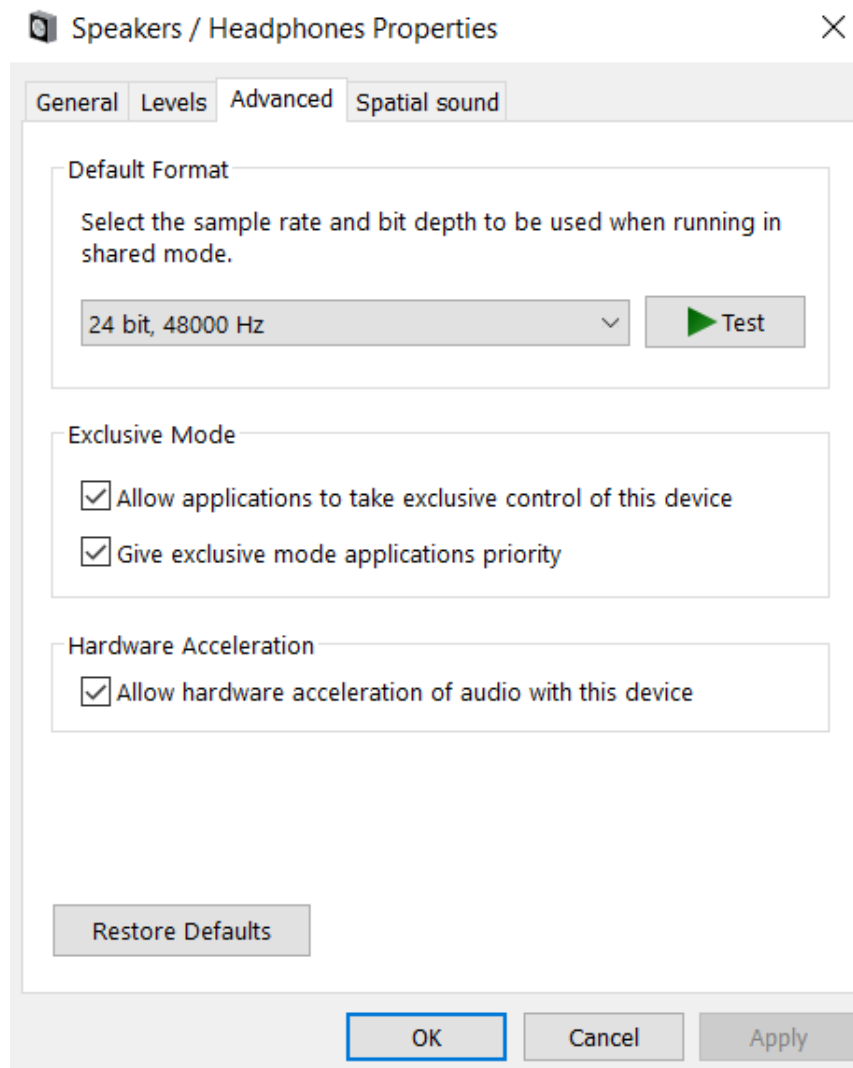
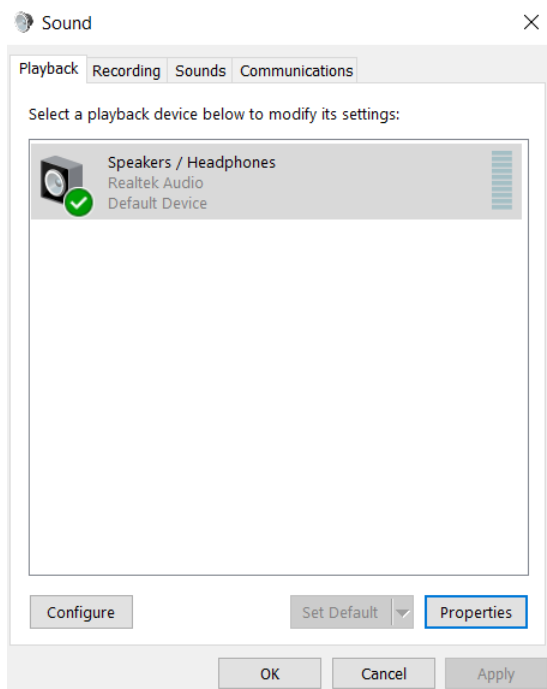
 Troubleshoot

排他モードの設定

手順2:

ヘッドフォンの再生設定を設定をします。(設定→サウンド→デバイスのプロパティー→追加デバイスのプロパティー→スピーカーのプロパティー)

- BME SessionsやUNAMASの場合は、デフォルトのフォーマットを24 bit、48000Hzに設定してください。
- 2LやDominique Fils-Aiméの場合は、デフォルトのフォーマットを24 bit、44100 Hzに設定してください。



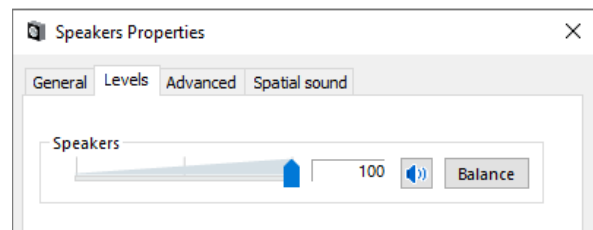
その他の設定と音量に

手順3

オーディオデバイスの再生設定

- [追加のデバイスプロパティ]をクリックします。
- スピーカーのプロパティを開き「レベル」タブに移動し、次のいずれかで音量レベルを設定・調整します。
 - a) 外部ボリュームコントロールを備えた外部オーディオデバイスがある場合は、ボリュームを100%に設定。
 - b) 外部ボリュームコントロールのない外部オーディオデバイスを使用している場合は、音量はお好みのレベルに調整してください。

- 「立体音響方式」はオフにしてください。(デバイスのプロパティまたはスピーカーのプロパティ)
- LとRのバランスは100%にしてください。(デバイスのプロパティ)



← Settings

Device properties

Speakers Rename

Disable

Spatial sound

Spatial sound format

Select your spatial sound format for an immersive audio experience that simulates a more realistic environment.

Off ▼

Balance

L —————| 100
R —————| 100

Related Settings

[Additional device properties](#)

その他の設定と音量に

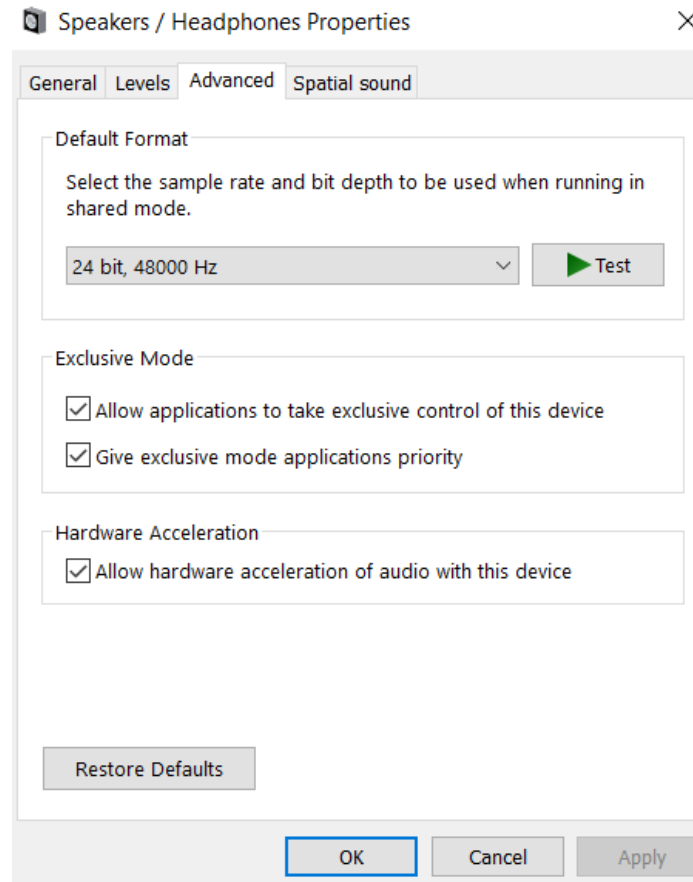
手順4

詳細設定タブに移動します

・排他モードで両方のボックスを選択してください。

・デフォルトのフォーマットを24 bit、48000Hzに設定してください。

2L やDominique Fils-Aiméのビデオの場合は、規定値のフォーマットを 24 bit、44100 Hz に設定する。



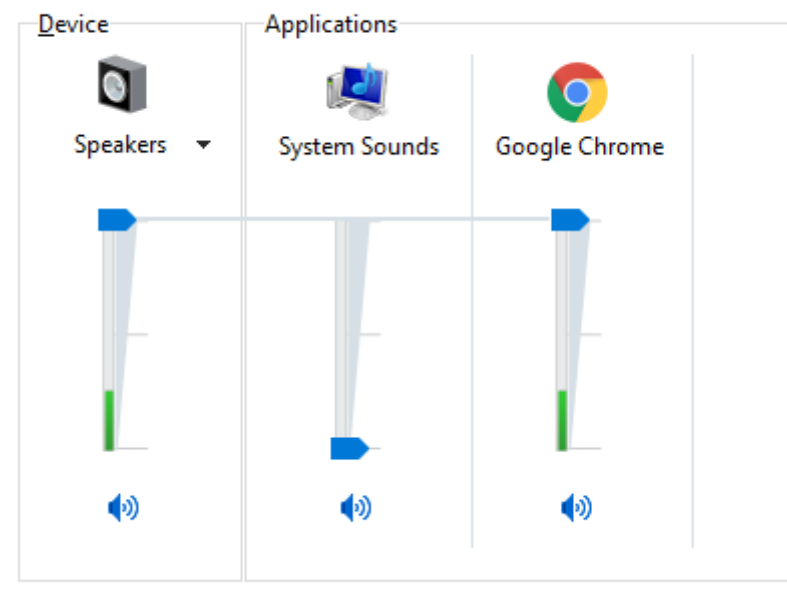
その他の設定と音量に

手順5(オプション)

オーディオ信号がビットパーフェクトで出力されるようにするための音量設定

- タスクバーのトレイのスピーカーを右クリック。
- ボリュームミキサーを選択してください。
- システムサウンドを0に設定してください。
- Chromeの音量を(ぴったり)100%に設定してください。

Volume Mixer - Speakers (Meridian USB input)



※MQA対応デコーダーを接続した場合の設定もほぼ同様です。

ブラウザーのセットアップでの注意点

Google Chrome、Firefox、またはEdgeのブラウザの音量レベルは(ぴったり)100%に設定してください。